

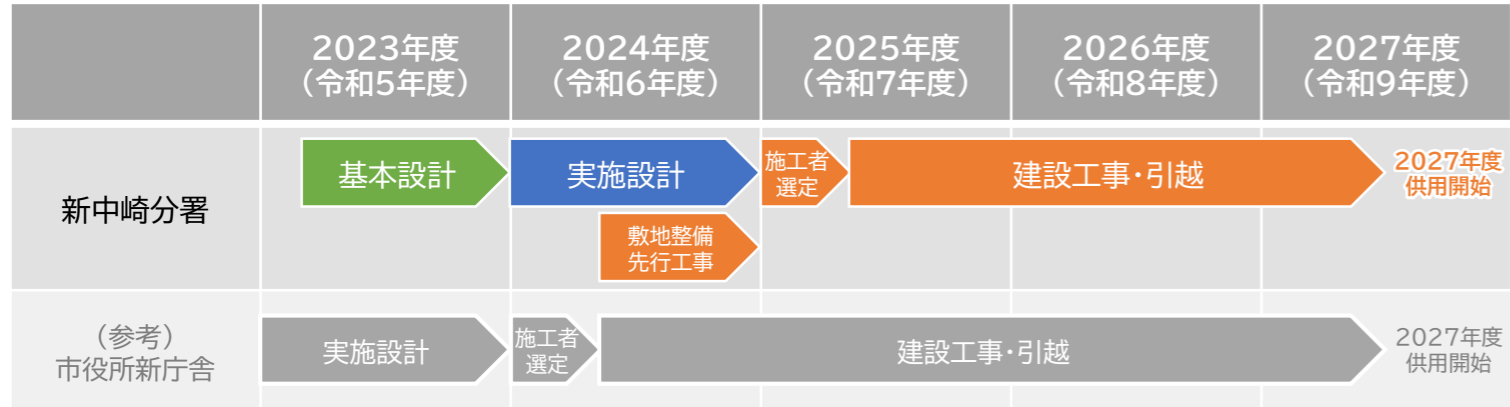
新中崎分署建設 基本設計(案)

1. 建設整備の方針

現中崎分署において耐震性能の不足や老朽化が進行していることなどを踏まえ、災害活動拠点として高い耐震性能を有しながら、環境にやさしく、経済的で機能性に優れた庁舎を整備します。

また、災害事案や救急事案において安全・確実・迅速に活動が行えるよう、消防機能を重視するとともに、日頃の訓練活動の様子が風景の一部に溶け込むことで、市民に安心感を与えられるような庁舎を目指します。

2. 事業スケジュール



3. 設計の方針

(1) 現中崎分署棟の課題

- ① 耐震性能の不足
- ② 老朽化の進行
- ③ 維持管理コストの増大
- ④ バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応不足
- ⑤ 津波等の浸水による影響

(2) 整備方針

- ① 災害に強い庁舎
- ② 機能性に優れた経済的な庁舎
- ③ 環境にやさしい庁舎

(3) 設計方針

- ・ 出勤時間の短縮を最優先とした配置計画及び動線計画
- ・ 屋外階段や、壁の一部を訓練利用するなど、屋外空間を最大限に利用した訓練スペースの計画
- ・ 防水板や適切な室配置による浸水対策
- ・ バリアフリー・ユニバーサルデザインを配慮し、エレベーターや多機能トイレを計画
- ・ 日照時間が長い地域特性を活かした太陽光発電システムの導入
- ・ 緑化計画、色彩計画など景観への配慮

4. 基本設計概要

(1) 敷地概要

所在地 明石市相生町1丁目9番6
 面積 1,993.31㎡
 用途地域 近隣商業地域
 防火地域 準防火地域
 建ぺい率 80%
 容積率 300%
 その他 埋蔵文化財包蔵地等

(2) 建物概要 (2024年2月時点)

規模 地上4階建
 構造 RC造
 建築面積 799.30㎡
 延床面積 1,996.30㎡
 最高高さ 17.75m
 概算工事費 約16.5億円

(3) 配置計画

- ・ 消防車両を迅速に出動させるため、車庫を南面に配置します。
- ・ 建物を北側市道と平行に配置し、消防車両の転回・点検スペースを確保します。
- ・ 南北の道路から訓練の様子が見えるよう、西側を訓練エリアとします。
- ・ 敷地東側は住宅と近接していることから、駐車・駐輪エリアとします。



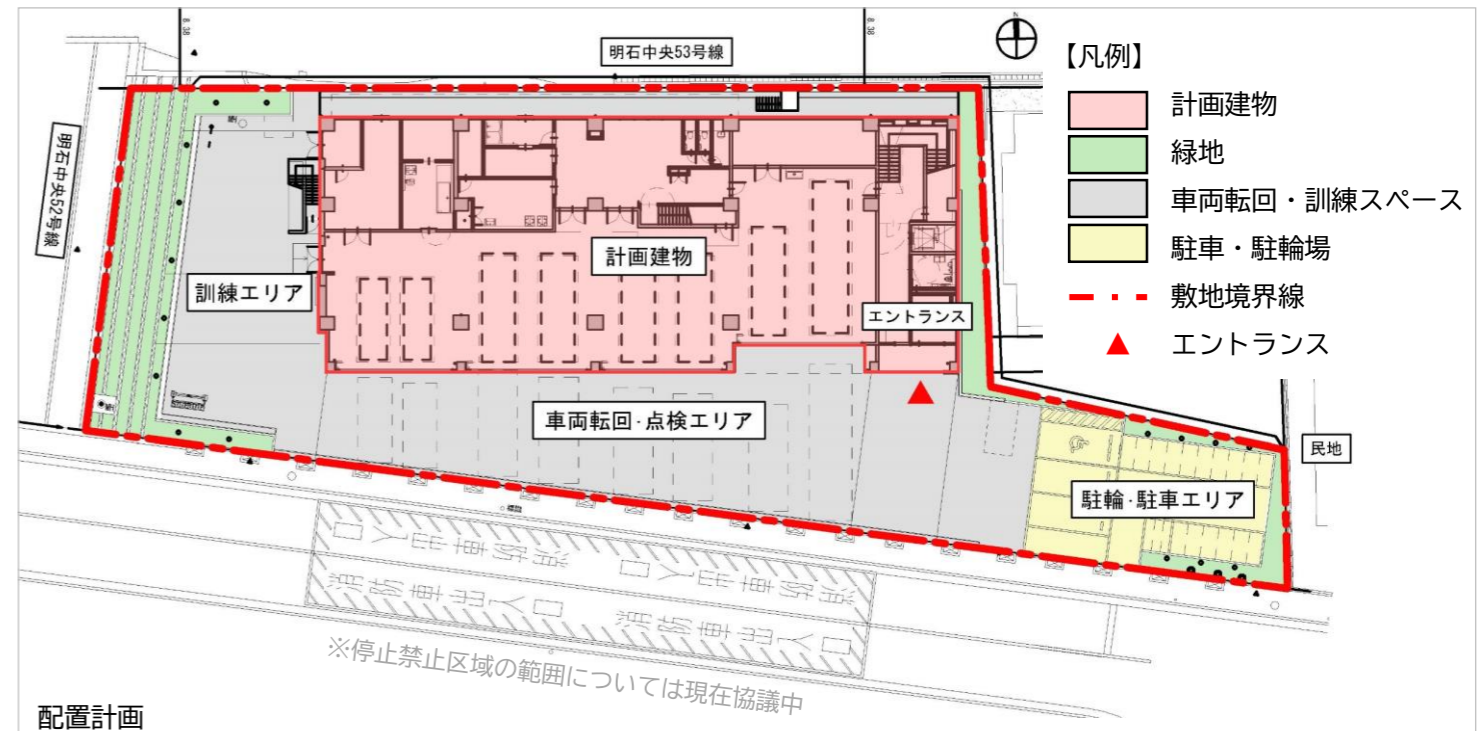
外観イメージ



外観イメージ



位置図



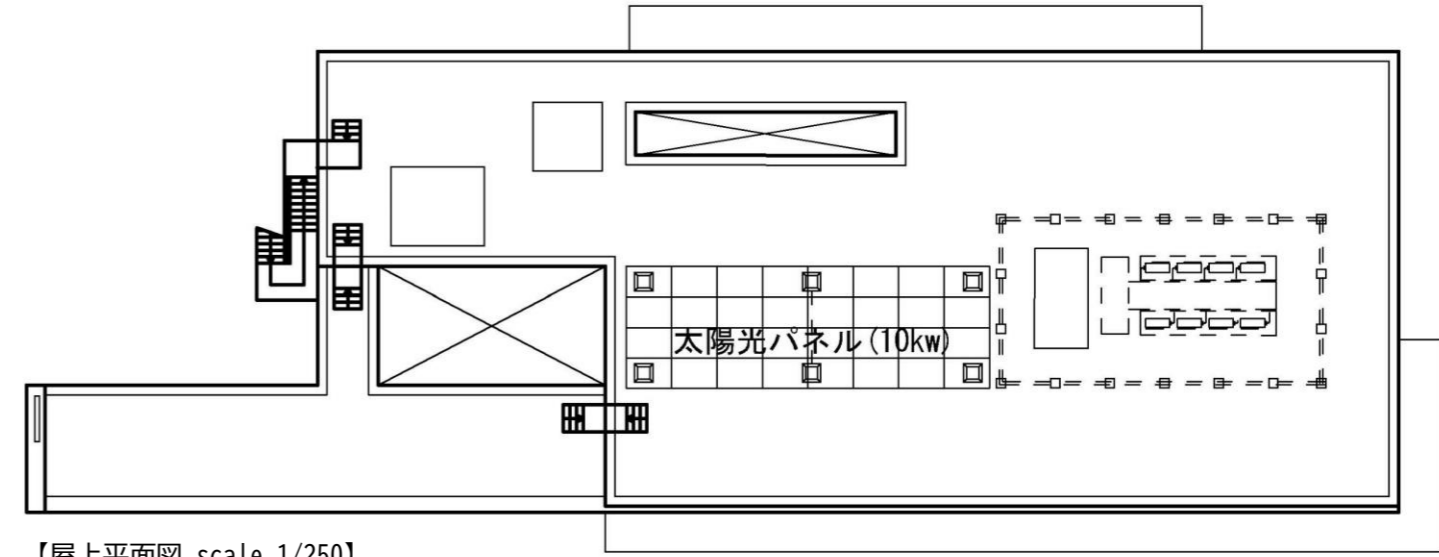
配置計画

(4) 平面計画

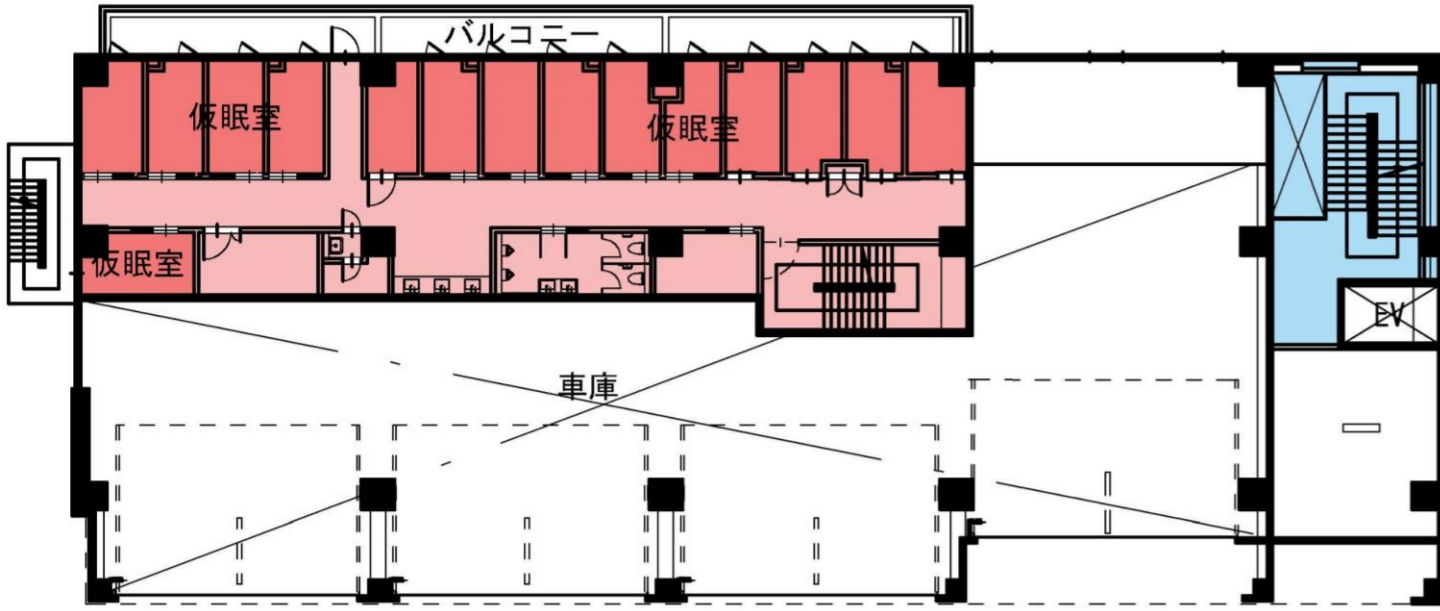
- ・消防車両の迅速な出動のため幹線道路にアクセスできるよう1階の車庫を南面に配置します。
- ・出動時間を短縮するため、建物中央に消防専用の階段を配置します。
- ・日中に勤務している事務室と夜間に待機している仮眠室を下層階に配置し、出動時間を短縮します。
- ・EVや階段等の共用部を東側にまとめ、来客動線と消防動線が交錯しない計画とします。

【凡例】

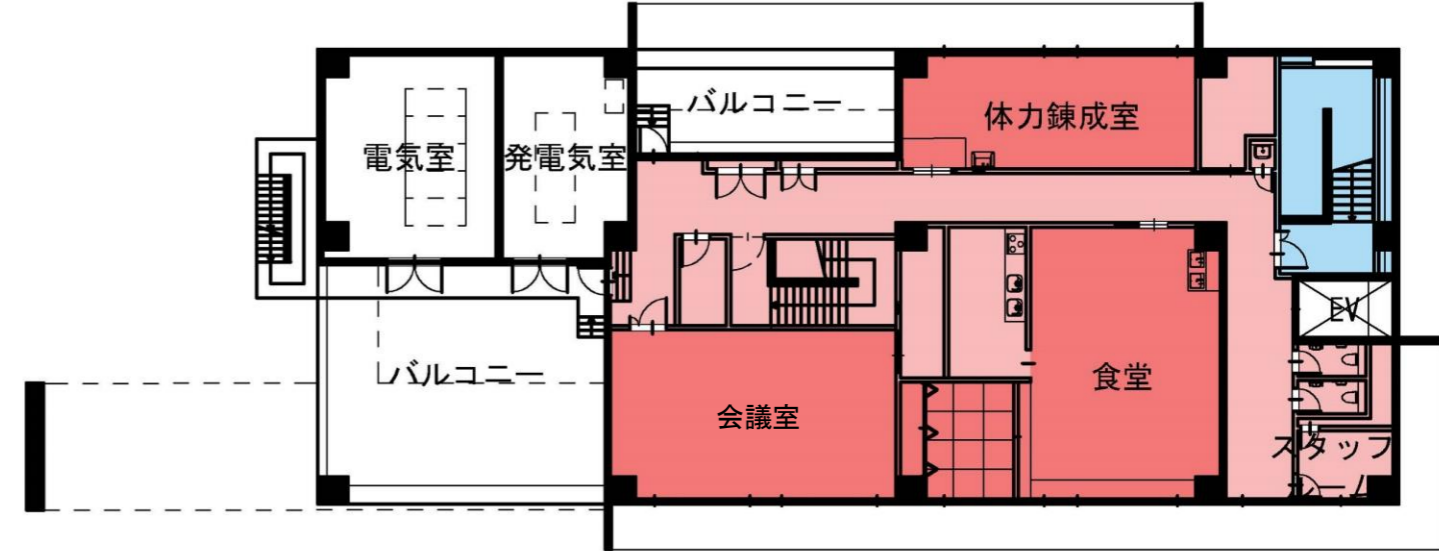
- 消防機能
- 共用部



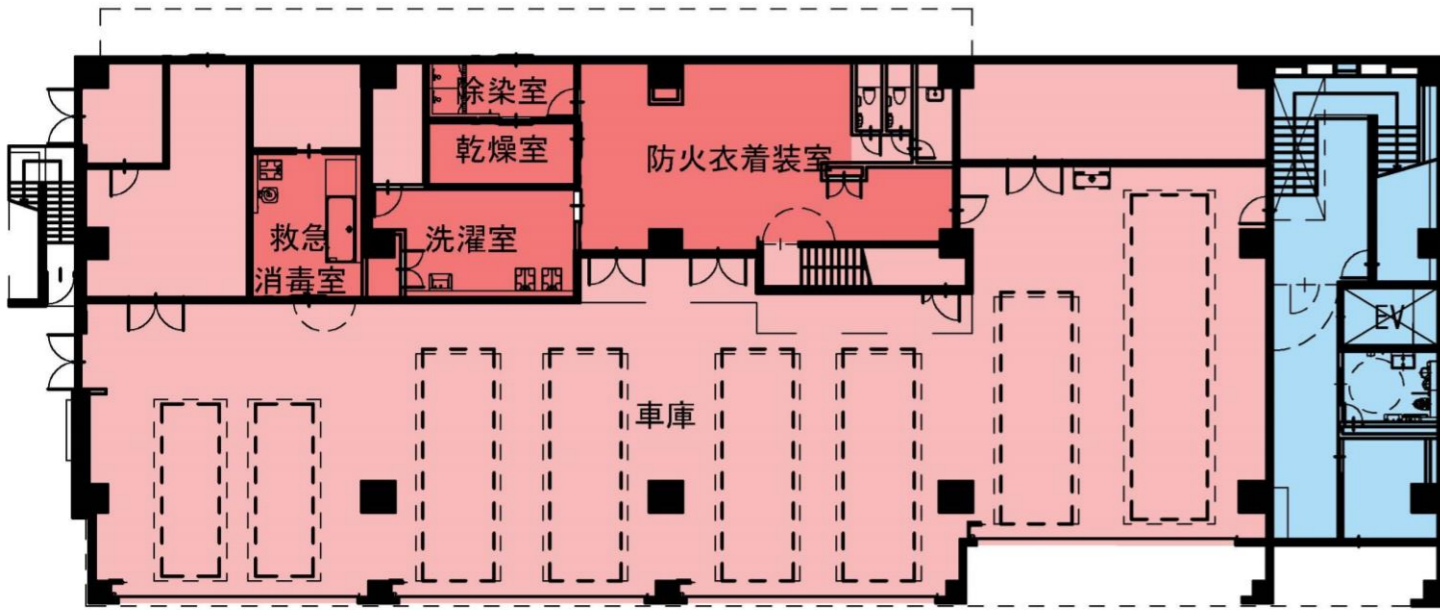
【屋上平面図 scale 1/250】



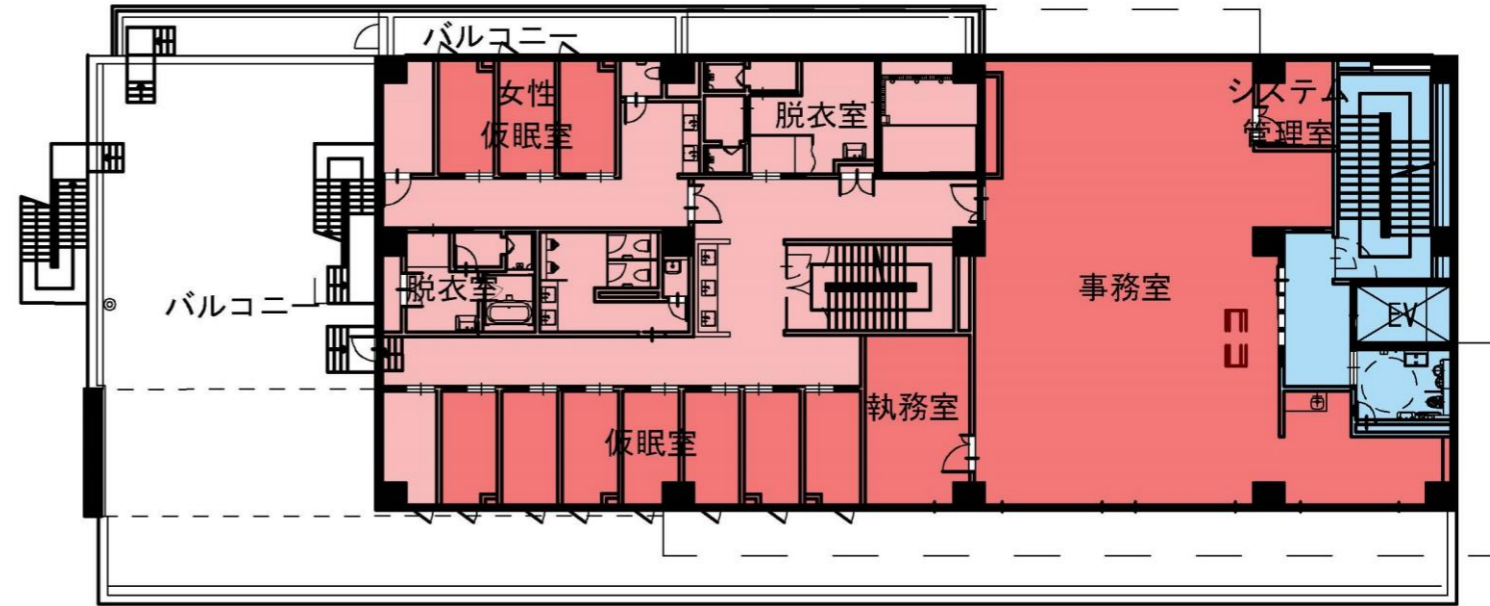
【2階平面図 scale 1/250】



【4階平面図 scale 1/250】



【1階平面図 scale 1/250】



【3階平面図 scale 1/250】

(5) 立面・景観計画

- ・ 車庫や降下訓練部分など消防分署として必要な機能と、公園や市庁舎という周辺環境を考慮した立面計画とします。
- ・ 南西バルコニー案を採用することにより多様な訓練を可能とするとともに、敷地西側の訓練スペースと立体的な訓練に使用することができる計画とします。
- ・ 壁面の一部に放水壁を設け放水訓練を、西壁面を利用し屋上から地上までの降下訓練を可能とします。
- ・ 庁舎を火災建物と見立て、屋外階段を利用したホース延長等の火災対応訓練を可能とします。
- ・ 外壁のメインカラーには白系やグレー等の無彩色に近い色を採用し、南側1階に並ぶ消防車両の赤色を建物全体のアクセントカラーにとらえ計画します。
- ・ 消防車両が見えることで、消防隊員と子ども達との交流を促し、市民に安心感を与える建物とします。
- ・ 立面構成においては、単調な一つの面とするのではなく、前後に様々なボリュームが出入りしているような立体感のある構成にすることで、建物独特の圧迫感を軽減し、周囲に馴染みやすい印象を与える計画とします。

(6) ユニバーサルデザイン計画

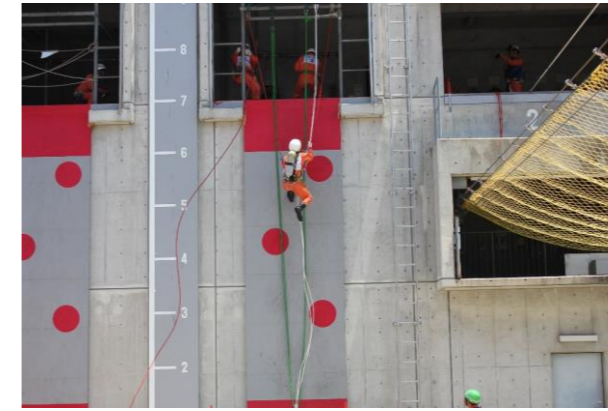
- ・ 車いす利用者や視覚・聴覚障害者に対応したエレベーターを設置します。
- ・ 来庁者用の利用階である1階と3階には多機能トイレを設置します。
- ・ 庁舎に近接した位置に車いす利用者等への優先駐車スペースを設けます。
- ・ 視覚障害者の安全な移動を確保するため、建物内外への誘導ブロックを敷設します。

(7) 環境計画

- ・ 日照時間が長い地域特性を活かし、太陽光発電システムを導入します。
- ・ ZEB Ready認証取得を目指します。
- ・ 消防活動に支障の無い敷地外周部に最大限緑地を確保します。

(8) 防災・構造計画

- ・ 耐震性能は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」等に基づき、最高水準（I類）の安全性を確保するように計画します。
- ・ 災害時等の浸水の危険性を考慮し、1階の各所室出入口に止水板を計画します。
- ・ 電気室、発電機室等は、浸水の危険性がない高層階（4階）に配置します。



壁を利用した訓練イメージ



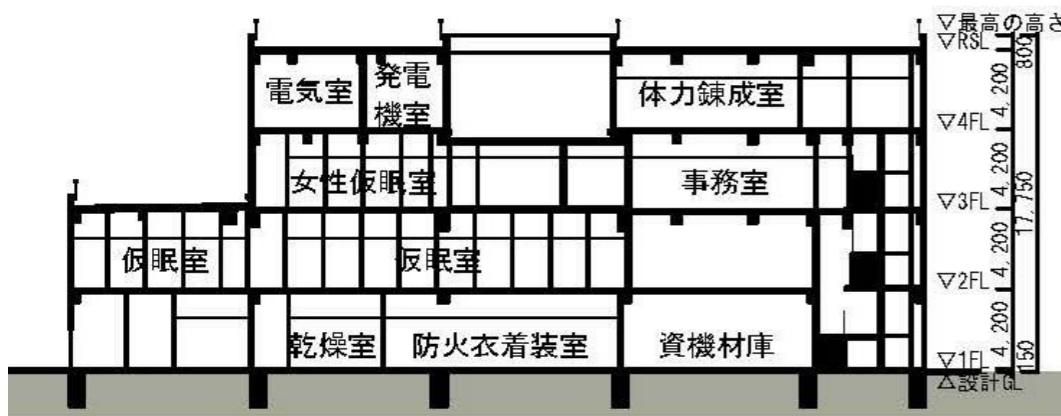
屋外階段を利用した訓練イメージ



放水壁を利用した訓練イメージ



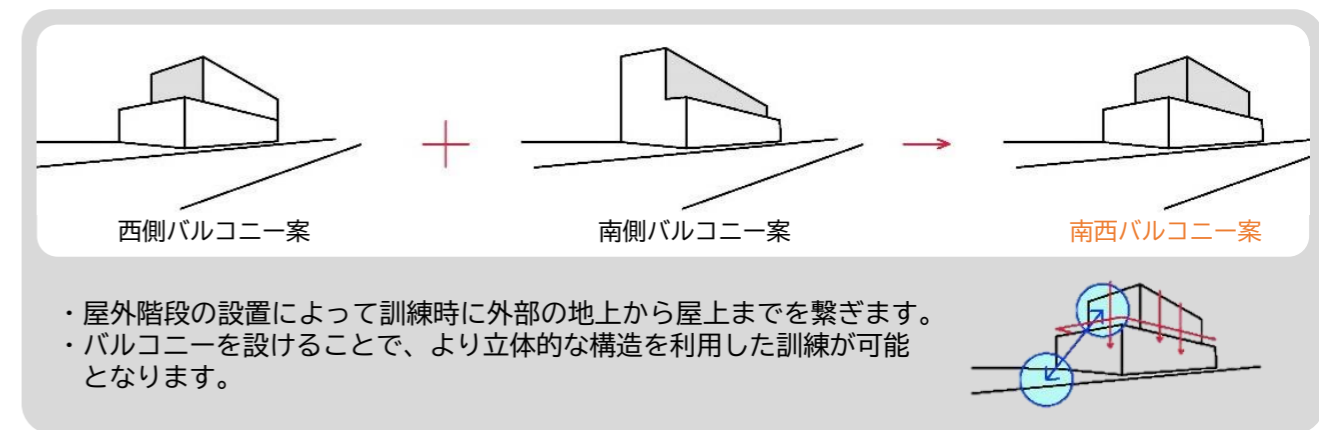
西側訓練スペースを利用した訓練イメージ



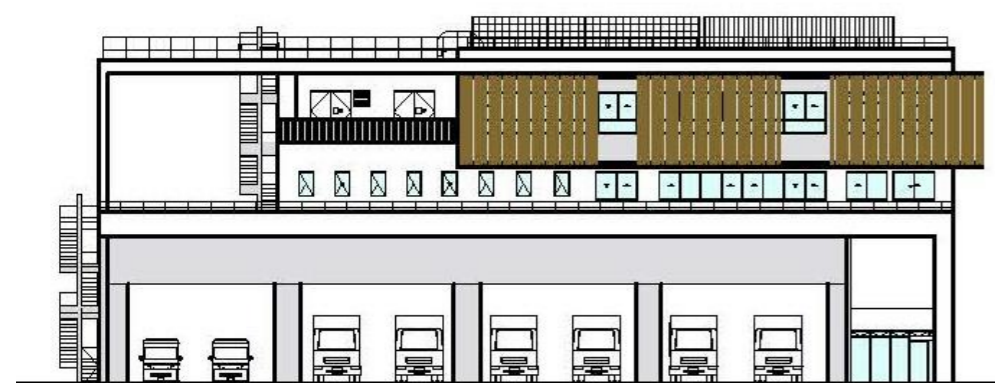
【東西断面図 scale 1/400】



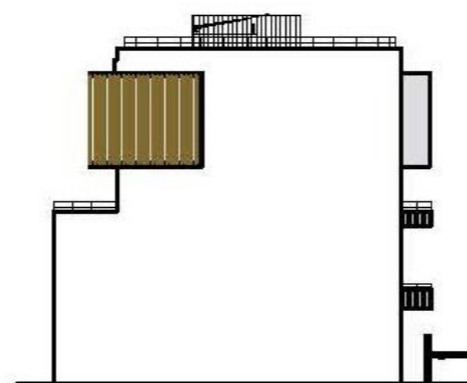
【南北断面図 scale 1/400】



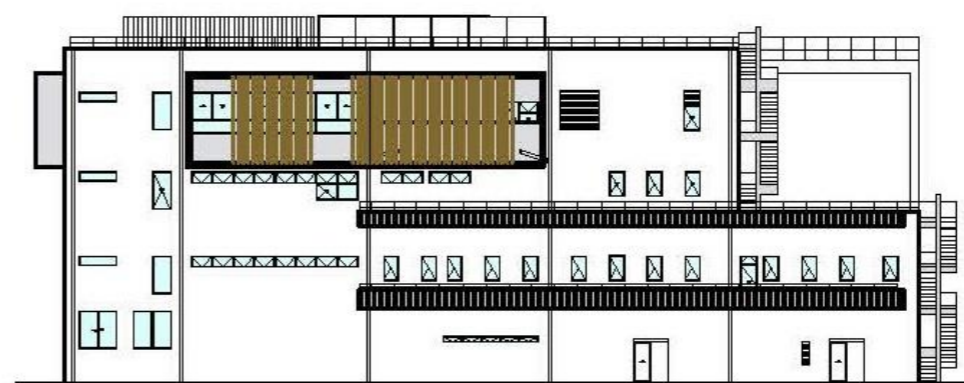
バルコニー検討案



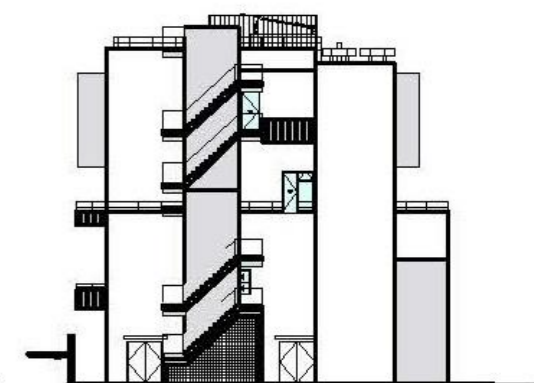
【南立面図 scale 1/400】



【東立面図 scale 1/400】



【北立面図 scale 1/400】



【西立面図 scale 1/400】